
編集後記

いまの日本には、いろいろな閉塞感があります。財政破綻、少子高齢化、産業の空洞化、環境エネルギー問題、来るべき資源枯渇など、今まで留保されていたことが、一遍に顕著になったように思います。医療と超音波機器産業にも関係があります。この閉塞感を打ち破り、明るい、持続可能な将来に繋げるためには、特に若い方々の、柔軟な考えや頑張り、そして学術的ブレークスルーが必要です。工学系で学部生の80%が大学院修士課程まで進学する時代に、博士号をもって自分に更なる付加価値を付ける、そして博士号をもっていないと解決できないような、社会が抱える大きな問題に挑む、ということも重要となります。今後とも、日本の将来、世界の未来のために、特に若い人には各々の個性を見出し輝いていてほしいと思います。国を支えると思うと、重い荷物を背負うように思うかも知れませんが、それだけやりがいもあり、成果のインパクトも強い訳です。国の礎になることです。少なくとも大学・企業などの研究者・開発者は、自分の意思に基づくボトムアップの研究を大切にしているので、個人個人の夢や研究による感動を大切に、研究に継続的に専念することです。我々の使命は、国の将来を守るため、輝かしい未来を切り開き、真に豊かな社会を創造するため、自分に秘められた特異な能力を見出し、その本来の務めを全うすることではないかと思います。頑張りましょう。

金井 浩

超音波医学
Japanese Journal of
Medical Ultrasonics

第40巻 第1号 (通巻第273号)

© The Japan Society of Ultrasonics in Medicine

—禁転載—

本体価格 2,100円 (税込み) (本誌購読料は会費に含まれます。)

平成25年1月15日発行

編集者 (社)日本超音波医学会編集委員会 委員長 金井 浩

発行者 (社)日本超音波医学会 理事長 竹中 克

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23-1

お茶の水センタービル6階

TEL 03-6380-3711

FAX 03-5297-3744

印刷所 大村印刷株式会社